

关于举办第三届 “理论与实践结合的日语教育学” 国际研讨会的通知

为促进日语教师对教学理论与教学实践的研究，北京日本文化中心（日本国际交流基金会）、北京外国语大学北京日本学研究中心和高等教育出版社将于2018年3月17日至18日联合举办“理论与实践结合的日语教育学”国际研讨会。旨在基于《日语教育基础理论与实践系列丛书》的理念基础上，引导参会者思考并讨论日语教学实践的设计、实施和研究方法，进一步促进日语教育的理论与实践相结合。

前两届国际研讨会得到了参会者的广泛好评。为此，组织方继续聚焦“教学理论与实践研究”这一主题，邀请国内外专家和学者进行主题演讲、专题论坛和国内外最新研究成果报告，还将举办“2017年日语教育学实践研修优秀报告发表会”。期待广大日语教师积极报名参加！现将有关事项通知如下：

时 间：2018年3月17日 - 18日（16日下午报到，18日下午离会）

内 容：主旨演讲、专题论坛和研究发表（详见日程）

地 点：高等教育出版社（北京市西城区德外大街4号高等教育出版社
A座四层报告厅）

费 用：免费参会，交通费、住宿费自理

专家信息：修刚教授（天津外国语大学）、當作靖彦教授（加州大学圣地
亚哥分校）、松见法男教授（广岛大学）、林洪所长（北京师

范大学外文学院日语教育教学研究所)、朱桂荣副教授(北京外国语大学北京日本学研究中心)、王崇梁日语教育专家(北京日本文化中心)。

会议联络:北京日本文化中心(日本国际交流基金会)

010-85679511

本次研讨会面向海内外大学日语教师征集实践研究发表论文,与会代表人数上限为90名。我们将根据报名表和论文提要加以筛选,并以电子邮件形式发出参会邀请。

北京日本文化中心
(日本国际交流基金会)

高等教育出版社有限公司
总编辑办公室

北京外国语大学
北京日本学研究中心

2017年12月

日程（暫定）

日時	プログラム
3月17日（土）	
9:00-9:30	開幕式 主催側代表・来賓挨拶、記念撮影
9:40-10:40	基調講演① 修剛教授 「国家標準に基づく日本語人材育成及び教育実践のあり方」
10:50-11:50	基調講演② 當作靖彦教授 「グローバル時代の日本語教育の学習目標、学習内容、学習評価－日本語教育実践への提言」
12:00-13:45	昼食
13:45-14:20	報告 朱桂栄副教授 「日本語教育学実践研修を通じての、理論と実践をつなぐ試み」
14:30-17:00	研究発表会 (日本語教育学実践研修優秀レポート発表／一般応募発表) (20分発表+10分質疑応答・コメント)
17:00-17:30	研究発表会総括
18:00-20:00	懇親会
3月18日（日）	
8:30-9:30	基調講演③ 松見法男教授 「認知心理学が日本語教育実践と研究にもたらす可能性」
9:40-9:45	パネルセッション説明
9:45-10:00	當作靖彦教授 「教育実践を実践研究に結びつける方法」
10:00-10:15	松見法男教授 「語彙についての教育実践と研究」
	林洪所長
10:15-10:30	「北京師範大学外文学院日本語教育教学研究の歩み－日本語教師の実践能力の向上に向けて」
10:30-10:45	王崇梁日本語教育専門家 「実践研究への国際交流基金による支援プログラム」
11:00-12:00	壇上討論 當作靖彦＋松見法男＋林洪＋朱桂栄＋王崇梁
12:00-12:15	閉幕式
12:15-13:30	昼食

报名回执表

1、是否住宿（住宿每间 338 元，双人间）

德胜饭店 地址：北京市西城区北三环中路 14 号

是

否

2、是否进行研究发表

是

否

※选择「是」的老师，需事前提交研究发表提要。研究发表提要的文本格式请参考“「研究发表会」応募申込書”。

3、报名回执表与研究发表提要的提交截止日期均为 2018 年 1 月 15 日，请发送至 sousyo@jpfbj.cn（邮件名为：学校名称+姓名（参会、发表））。

（WORD 版请在 <http://www.jpfbj.cn/> 下载）

4、报名者信息

学校名称	姓名	性别	职（称）务	手机	邮箱

第3回「日本語教育学の理論と実践をつなぐ」国際シンポジウム
「研究発表会」応募申込書

※下記の(a)～(d)の要素を盛り込み、計 1600 字以内で発表要旨をまとめてください。
提出された発表要旨は予稿集に掲載されます。提出後の修正はできません。

(a)研究目的

(b)研究概要：主張の概要と、その妥当性（調査・実験・授業実践などに基づく主張の場合は、その方法、結果の概要、そこから抽出した考察を、いずれも示すこと）

(c)先行研究との違い・オリジナリティ等

(d)引用文献：本文で言及した論文、先行研究がある場合には、文献を挙げてください。文献は要旨の分量に含まれます。該当する文献がない場合には、「引用文献なし」と明記してください。

タイトル

—サブタイトル—

発表者氏名

本文 40 字×40 行以内厳守

1	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■
2	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■
3	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■
4	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■
5	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■
6	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■
7	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■
8	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■
9	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■
10	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■	□□□□□□□□	■

(所属機関名)

書式の整え方（以下の青字部分は応募時には削除してください）

- 用紙設定 A4サイズ 余白：上 35mm 左右下全て 30mm
- 発表タイトル：10.5 ポイント，MS ゴシック，ボールド，センタリング
- サブタイトル：10.5 ポイント，MS 明朝，センタリング ※「—」（全ダッシュ）囲み
<1 行アケ>
- 発表者氏名：10.5 ポイント，MS 明朝，右寄せ
*人数が複数の場合は、間に全角の「・」を入れて横一列にする。
例) 氏名 1・氏名 2・氏名 3
- 要旨本文：10.5 ポイント，MS 明朝，40 字×40 行以内厳守
※算用数字は 1 ケタは全角，2 ケタ以上は半角 (例) 1 回，11 回，2 枚，22 枚
※カタカナは全角 読点は全角で「、」 句点は全角で「。」
- 所属機関名：10.5 ポイント，MS 明朝，右寄せ。
*2 人以上で所属が異なる場合は、次のようにする。
例) 名字 1—所属，名字 1—所属，名字 1—所属
- 発表要旨は必ず指定フォーマットで，A4 サイズ 1 枚以内にまとめてください

ご記入ありがとうございました。

- ◆もう一度、記入漏れや間違いがないかご確認ください。書類に不備があった場合、発表応募を受理できないことがありますので、今一度お確かめください。
- ◆記入が終わりましたら、説明部分（青字部分）を削除してA 4サイズのワード(.doc)形式にて保存してください。
- ◆ファイル名は研究発表応募＋筆頭発表者（フルネーム）としてください。

◆◆◆提出先◆◆◆

sousyo@jpfbj.cn

国際交流基金北京日本文化センター

2018年1月15日までに報名回执表と併せ提出。

件名は「所属機関名＋氏名（発表）」。